

Stop! ざ・メタボ No,111 歯周病と生活習慣病 歯の衛生週間 (6月4日～10日)

近頃は職場でも歯磨きをする人が増えてきました。

歯が抜けてしまう原因の約9割が虫歯と歯周病ですが、歯周病は生活習慣病と関係があることがわかってきました。

歯周病は、歯と歯肉の間に食べカスなどのゴミ(歯垢)がたまり、そこに細菌が繁殖し、歯の周りの組織を破壊してしまう病気です。歯周病は、糖尿病、高血圧といった生活習慣病の一つで、30歳代ごろから増えていき、50歳代の約半数がかかっています。

歯周病と関係のある生活習慣病についてご紹介します。

◆糖尿病 歯周病は糖尿病の合併症として捉えられています。

◆心疾患 歯周病によってハグキで産生された炎症性物質が血流を介して心臓血管にも影響を及ぼしていると考えられています。

◆骨粗鬆症 歯槽骨が弱くなると歯周組織の破壊が進みやすくなり、骨粗鬆症は歯周病を進行させる一つの原因と考えられています。

歯周病を予防するためにも食後の歯磨き習慣を身につけましょう。



 **ウオクニ株式会社**
<http://uokuni.co.jp>

※当社における食品の安全・安心および健康に関する取り組みについてはホームページをご覧ください。